

## 平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における「いじめ」に関する調査結果の概要



平成27年10月26日  
千葉県教育庁教育振興部  
指導課生徒指導・いじめ対策室  
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸問題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、いじめに関する平成26年度調査の本県分（千葉市を含む）を取りまとめたものです。

### 1 調査項目及び対象

#### (1) いじめ

県内全公立小・中・高等学校及び特別支援学校

### 2 調査対象期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間

### 3 調査結果の概要

**(1) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は25,811件で、前年度の20,187件より5,624件増加。**

#### ア 校種別認知件数

(ア) 小学校における認知件数は19,410件で、前年度の13,884件より5,526件増加している。

(イ) 中学校における認知件数は6,180件で、前年度の6,162件より18件増加している。

(ウ) 高等学校における認知件数は197件で、前年度の132件より65件増加している。

(エ) 特別支援学校における認知件数は24件で、前年度の9件より15件増加している。

#### イ いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（平成27年3月31日現在の状況）としては、「解消しているもの」が21,858件で、全認知件数の84.7%、「一定の解消が図られたが、継続支援中」が3,045件で11.8%、「解消に向けて取組中」が873件で3.4%、「その他」が35件で0.1%となっている。

#### ウ いじめの発見のきっかけ

(ア) 小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（58.8%）、②本人からの訴え（18.2%）、③学級担任が発見（14.1%）である。

- (イ) 中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(44.4%)、②本人からの訴え(25.6%)、③学級担任が発見(13.9%)である。
- (ウ) 高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(46.7%)、②本人からの訴え(22.8%)、③学級担任が発見(11.7%)である。
- (エ) 特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え(37.5%)、②学級担任が発見(25.0%)、③アンケート調査など(16.7%)となっている。

#### エ いじめられた児童生徒の相談の状況

- (ア) 小学校の児童の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談、②保護者や家族等に相談、③友人に相談である。
- (イ) 中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談、②保護者や家族等に相談、③友人に相談である。
- (ウ) 高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談、②誰にも相談していない、③友人に相談である。
- (エ) 特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談、②保護者や家族等に相談、③学級担任以外の教職員に相談である。

#### オ いじめの態様

- (ア) 小学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(60.7%)、②軽くぶつかられる、叩かれる等(20.0%)、③仲間はずれ、集団による無視(18.1%)である。
- (イ) 中学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(62.2%)、②仲間はずれ、集団による無視(17.2%)、③軽くぶつかられる、叩かれる等(16.6%)である。
- (ウ) 高等学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(54.3%)、②パソコンや携帯電話等での誹謗中傷等(20.8%)、③軽くぶつかられる、叩かれる等(19.3%)である。
- (エ) 特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい悪口等(54.2%)、②嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり等(20.8%)、③軽くぶつかられる、叩かれる等(16.7%)である。

## 千葉県の問題行動等の概要(「いじめ」のみ掲載)

### 1 いじめ

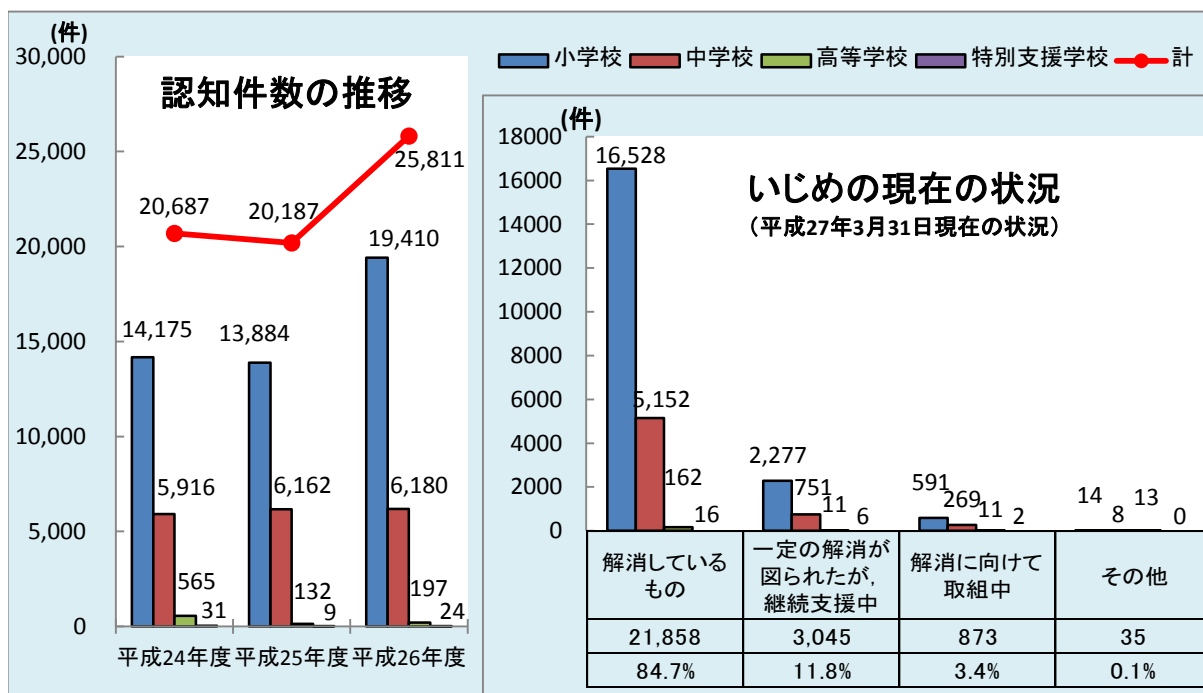
年 度	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)	合 計(件)	増 減
16年度	678	1,193	58	4	1,933	—
17年度	618	1,182	69	2	1,871	△ 62
18年度	4,671	3,745	171	9	8,596	6,725
19年度	5,103	3,970	141	12	9,226	630
20年度	3,646	3,244	145	6	7,041	△ 2,185
21年度	3,570	2,997	93	14	6,674	△ 367
22年度	4,239	3,931	158	7	8,335	1,661
23年度	3,672	3,556	138	12	7,378	△ 957
24年度	14,175	5,916	565	31	20,687	13,309
25年度	13,884	6,162	132	9	20,187	△ 500
<b>26年度</b>	<b>19,410</b>	<b>6,180</b>	<b>197</b>	<b>24</b>	<b>25,811</b>	<b>5,624</b>

# 平成26年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

## 1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	平成24年度	837	658	78.6%	14,175	10503【 286.0%】	16.9
	平成25年度	828	581	70.2%	13,884	△291【△ 2.1%】	16.8
	平成26年度	820	591	72.1%	19,410	5526【 39.8%】	23.7
中学校	平成24年度	383	358	93.5%	5,916	2360【 66.4%】	15.4
	平成25年度	382	331	86.6%	6,162	246【 4.2%】	16.1
	平成26年度	382	329	86.1%	6,180	18【 0.3%】	16.2
高等学校	平成24年度	149	79	53.0%	565	427【 309.4%】	3.8
	平成25年度	150	49	32.7%	132	△433【△76.6%】	0.9
	平成26年度	148	55	37.2%	197	65【 49.2%】	1.3
特別 学校 支援	平成24年度	35	9	25.7%	31	19【 158.3%】	0.9
	平成25年度	37	6	16.2%	9	△22【△71.0%】	0.2
	平成26年度	38	10	26.3%	24	15【 166.7%】	0.6
計	平成24年度	1,404	1,104	78.6%	20,687	13309【 180.4%】	14.7
	平成25年度	1,397	967	69.2%	20,187	△500【△ 2.4%】	14.5
	平成26年度	1,388	985	71.0%	25,811	5624【 27.9%】	18.6

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制、定時制、通信制の合計である。



※ いじめの定義(平成25年度一部改訂)

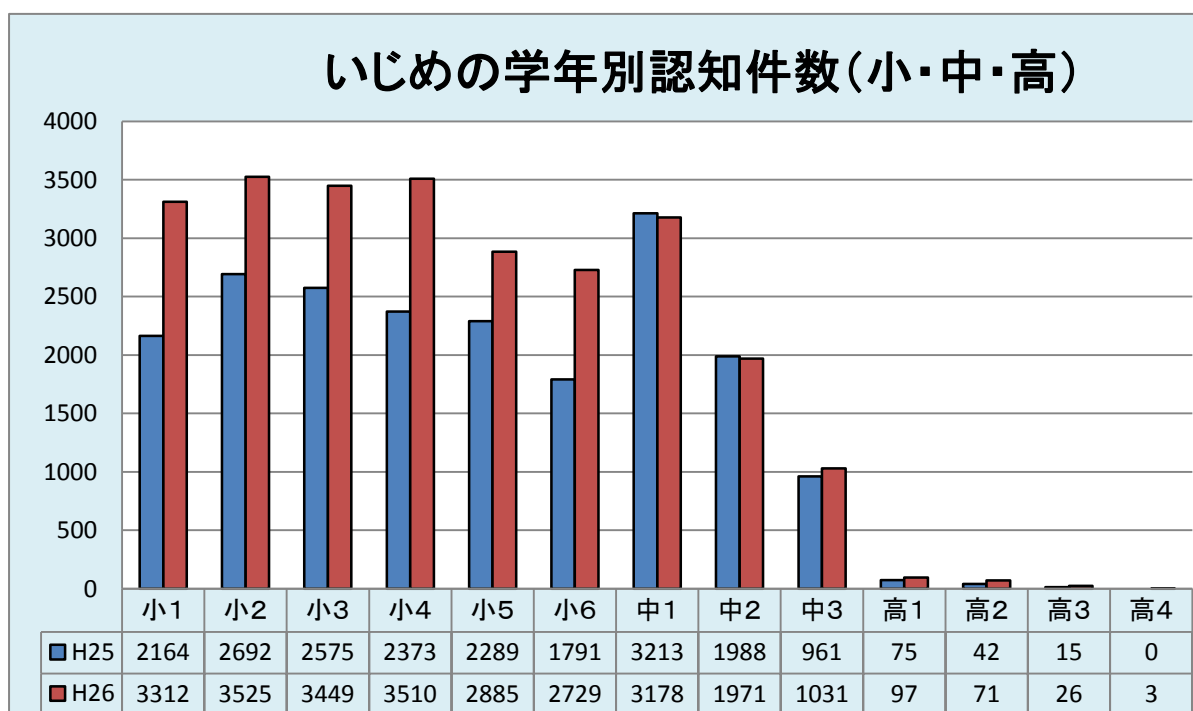
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

## 2 いじめの認知件数の学年別, 男女別内訳

(単位: 件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	男子	1,877	1,939	2,002	2,059	1,670	1,560	11,107
	女子	1,435	1,586	1,447	1,451	1,215	1,169	8,303
	小計	3,312	3,525	3,449	3,510	2,885	2,729	19,410
中学校	男子	1,740	1,098	538	—	—	—	3,376
	女子	1,438	873	493	—	—	—	2,804
	小計	3,178	1,971	1,031	—	—	—	6,180
高等学校	男子	60	54	18	0	—	—	132
	女子	37	17	8	3	—	—	65
	小計	97	71	26	3	—	—	197
小学部	男子	0	0	0	1	1	2	4
	女子	0	0	0	1	0	0	1
	小計	0	0	0	2	1	2	5
中学部	男子	0	0	0	—	—	—	0
	女子	0	0	1	—	—	—	1
	小計	0	0	1	—	—	—	1
高等部	男子	2	6	4	—	—	—	12
	女子	3	2	1	—	—	—	6
	小計	5	8	5	—	—	—	18
特別支援学校計		5	8	6	2	1	2	24
合計		6,592	5,575	4,512	3,515	2,886	2,731	25,811

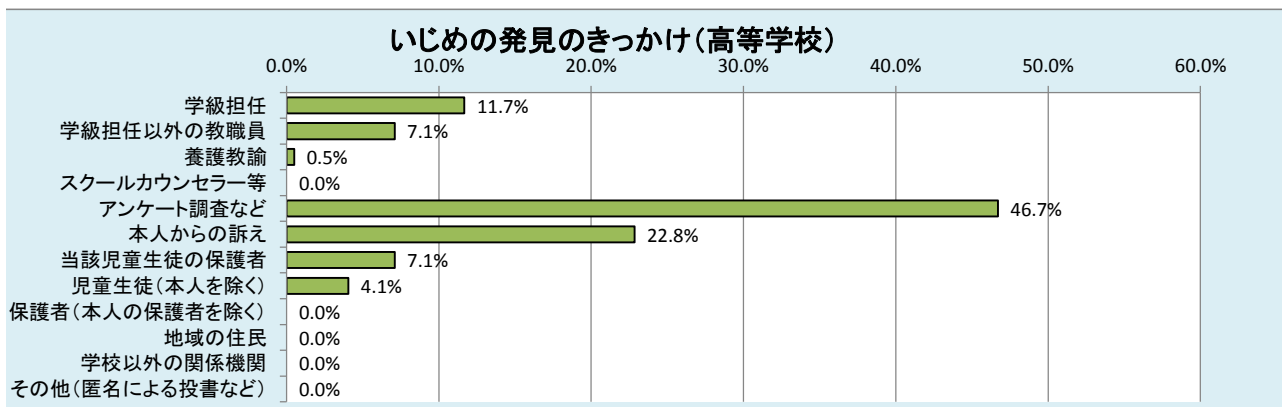
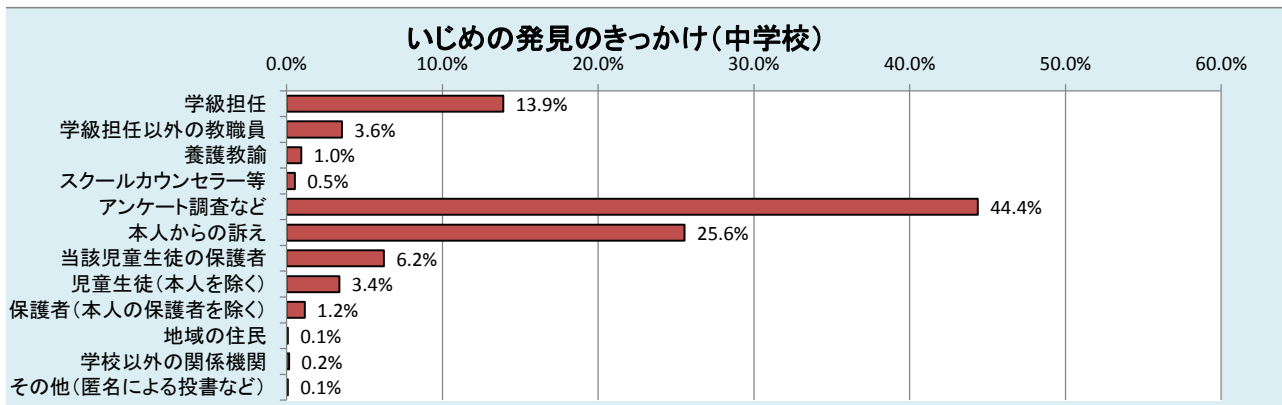
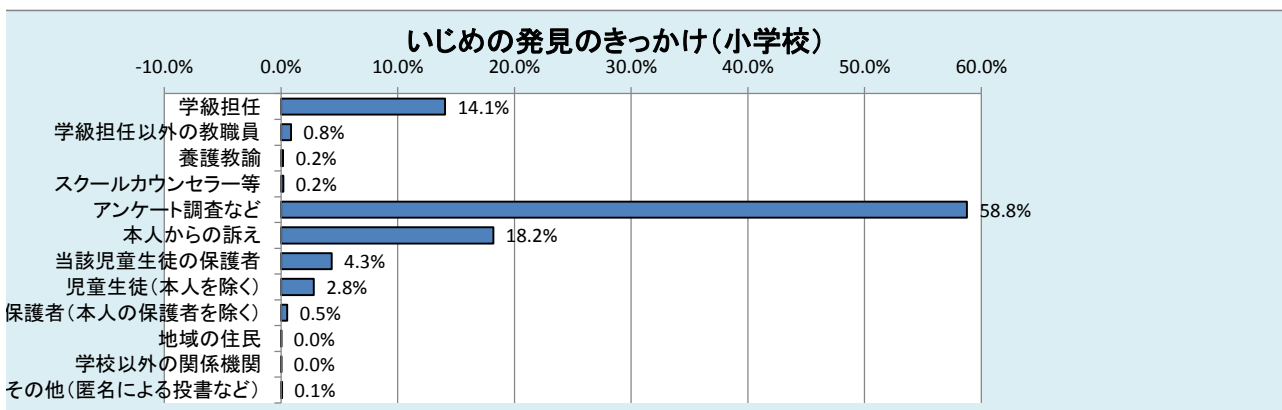


(注)平成25年度より高等学校定時制課程等の4年生以上を4年生として扱う。

### 3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	14,371	3,914	130	10	18,425	
内訳	学級担任	2,729	860	23	6	3,618
	学級担任以外の教職員	164	220	14	0	398
	養護教諭	34	59	1	0	94
	スクールカウンセラー等	36	33	0	0	69
	アンケート調査など	11,408	2,742	92	4	14,246
学校の教職員以外からの情報により発見	5,039	2,266	67	14	7,386	
内訳	本人からの訴え	3,530	1,579	45	3	5,157
	当該児童生徒の保護者	840	386	14	9	1,249
	児童生徒(本人を除く)	545	209	8	0	762
	保護者(本人の保護者を除く)	104	72	0	1	177
	地域の住民	3	5	0	0	8
	学校以外の関係機関	3	10	0	1	14
	その他(匿名による投書など)	14	5	0	0	19
計(認知件数)	19,410	6,180	197	24	25,811	

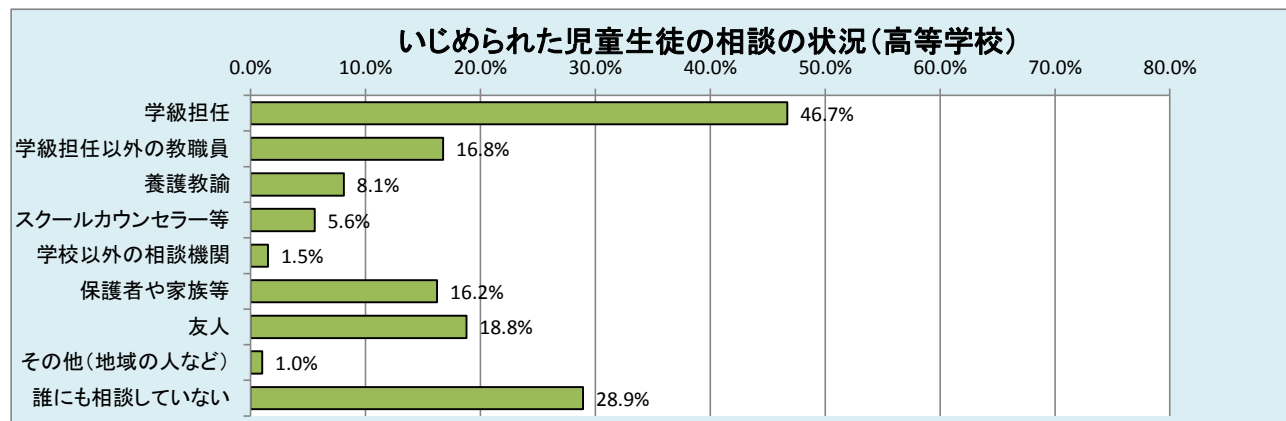
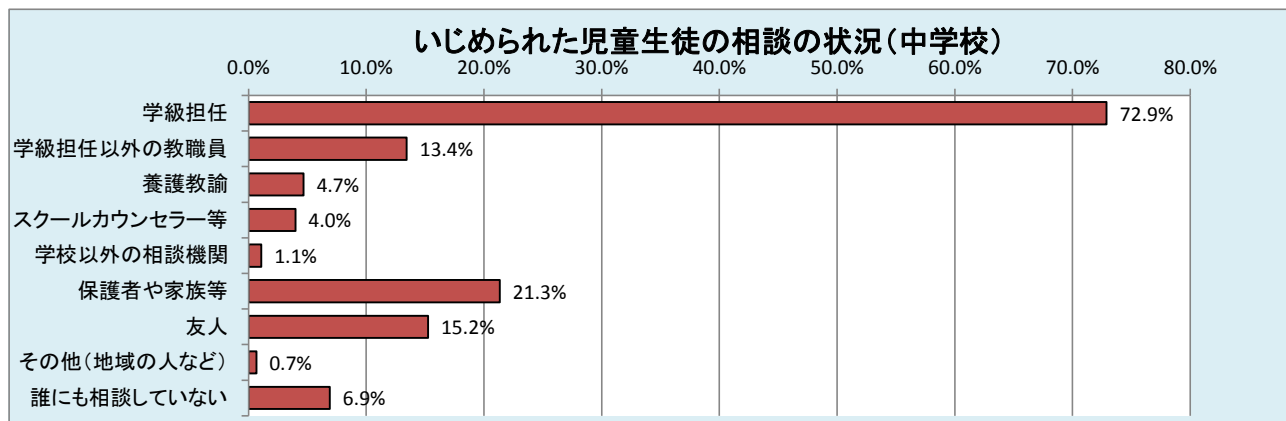
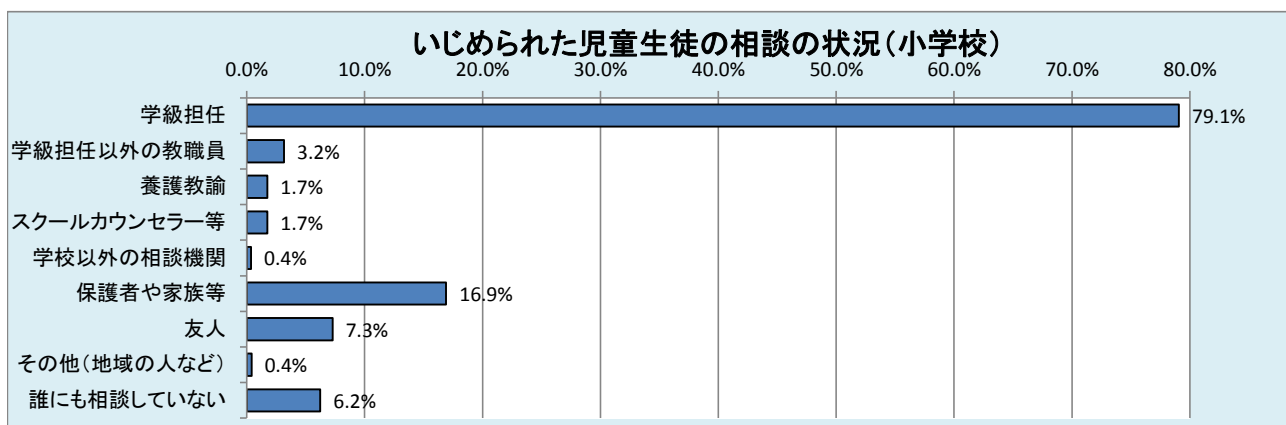


4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	15,346	4,505	92	17	19,960
学級担任以外の教職員	615	830	33	3	1,481
養護教諭	337	289	16	0	642
スクールカウンセラー等	338	246	11	0	595
学校以外の相談機関	70	67	3	0	140
保護者や家族等	3,283	1,319	32	6	4,640
友人	1,412	942	37	2	2,393
その他(地域の人など)	79	41	2	1	123
誰にも相談していない	1,210	427	57	0	1,694
計	22,690	8,666	283	29	31,668

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

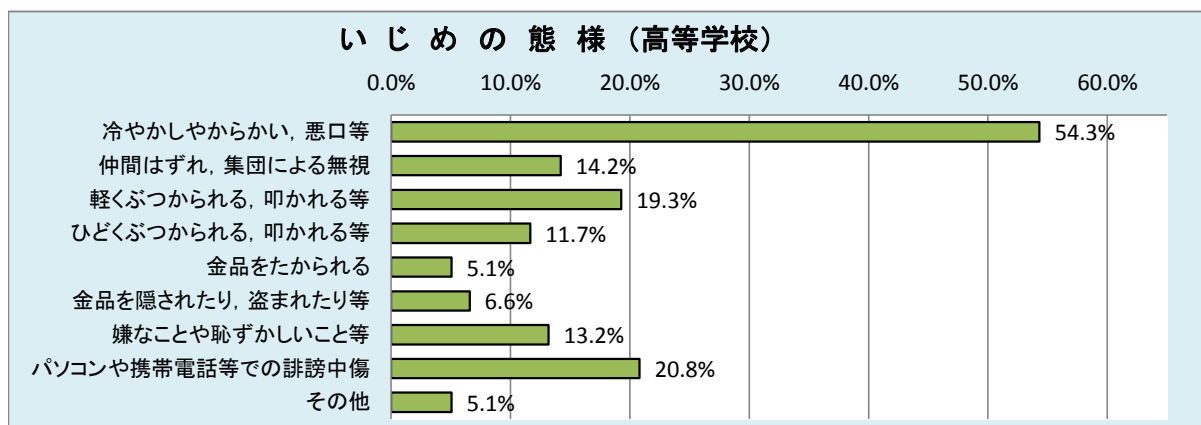
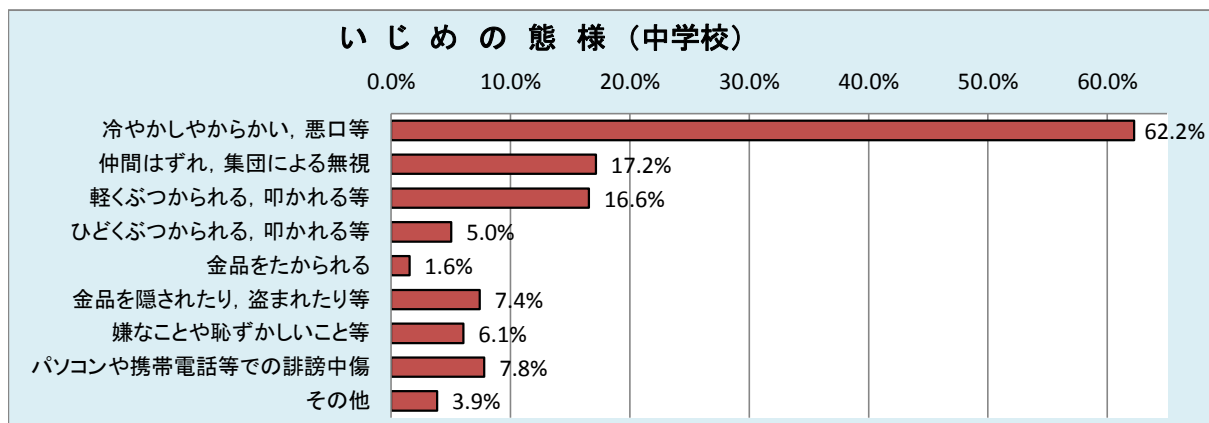
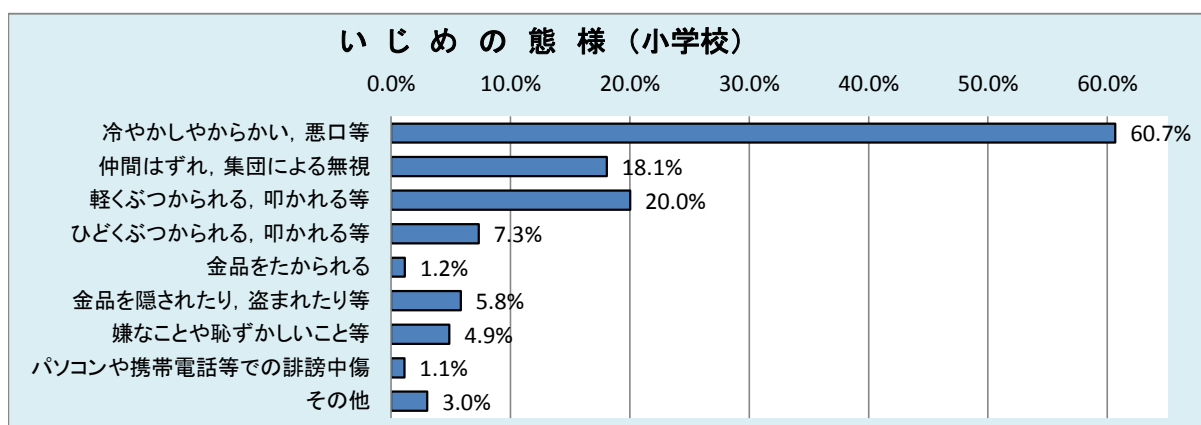
(認知件数:小学校19,410件、中学校6,180件、高等学校197件)

## 5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	11,774	3,846	107	13	15,740
仲間はずれ, 集団による無視	3,506	1,060	28	2	4,596
軽くぶつかられる, 叩かれる等	3,886	1,025	38	4	4,953
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	1,424	312	23	2	1,761
金品をたかられる	226	96	10	1	333
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	1,134	459	13	1	1,607
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	950	375	26	5	1,356
パソコンや携帯電話等での誹謗中傷等	220	483	41	2	746
その他	590	238	10	0	838
計	23,710	7,894	296	30	31,930

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校19,410件、中学校6,180件、高等学校197件)